

5年生 民泊体験活動を実施しました!!

小学校5年生の「北広島ふるさと夢プロジェクト」は、民泊体験活動です。

過去2年間、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、活動に大きな制約がありました。今年度は、いわゆる「第5類への移行」を受けて、感染症対策を行いながら活動を充実しました。具体的には、学校間で交流ができる活動を増やしました。

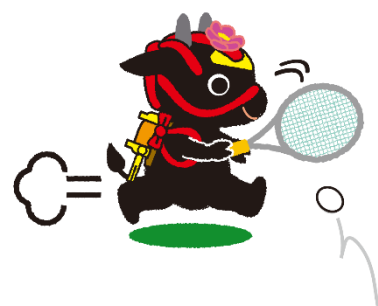
関係する皆様の多大なご尽力により、今年も町内の5年生が2泊3日の民泊体験活動を実施することができ感謝します。

<民泊体験活動のねらい>

- 自然の中での共同体験を通して、課題解決する力や協働する力を養う。
- 町内の自然を生かした体験活動や民泊等の地域の方とのふれあいをとおして、ふるさとの良さを実感させる。

<基本メニュー>

- 1日目 給食をとってから芸北文化ホールへ移動
開会、児童間での交流活動、民泊家庭との対面
民泊先家庭での民泊体験活動
- 2日目 芸北オークガーデンでせどやま市場体験
(芸北小は豊平でそば打ち・ソフトテニス体験)
民泊先家庭での民泊体験活動
- 3日目 芸北文化ホールで民泊家庭とお別れ
大暮養魚場に移動してアマゴのつかみ取り体験
閉会、各学校へ移動



A 令和5年6月20日～令和5年6月22日



本地小



豊平小



せどやま体験では、丸太を切り出し、薪にしてみました。豊平小の人と一緒に活動しました。初めは緊張していた子供たちも一緒に薪を切るうちに声を掛け合い、協力して薪を作ることができました。



初めて一人で切り終えた丸太は、達成感でいっぱいでした。働いて手に入れた「せどやま券」で活動後に食べたジェラートは格別でした。

B 令和5年6月27日～令和5年6月29日



大朝小



八重東小



民泊先では農作業体験や山登りなどを体験させていただきました。料理のコツを聞きながら一緒に作ったご飯はとてもおいしく、忘れられない時間となりました。



せどやま体験では、協力して木を切るとともに、せどやま事業について紙芝居で学びました。せどやま事業は空気中の二酸化炭素を減らし、山をきれいにしていることを学びました。



大暮養魚場では、施設の見学や火起こし体験、アマゴのつかみ取りにチャレンジしました。大朝小と八重東小の友達で協力して火起こしの作戦を立てたり、アマゴの調理に取り組んだりすることで、チームワークの大切さや感謝して命をいただくことの大切さを学びました。



みんなで協力して火を起こし、調理をして食べた魚はとても美味しかったです。これからいただく命にも感謝をして食べたいです。

C 令和5年7月11日～令和5年7月13日



対面式では緊張気味の子どもたちでしたがすぐに打ち解けていました。民泊家庭では、野菜の収穫や牛のえさやり、夕食作り、木工細工体験などを通して北広島町のよさ、家族の温かさを感じました。お別れはとても寂しく、「また会いたいです。」と別れを惜しんでいました。

3日目の大暮養魚場ではアマゴのつかみ取りを体験しました。大歓声でした。炭おこしには大苦戦。しかし、どの班も火おこしができました。また「命をいただく」というお話も聞きました。自分たちで捕まえたアマゴの塩焼きは最高の味でした！



八重小

2日目は「せどやま市場」での林業体験です。子どもたちは、重い丸太を運んだり、丸太を薪にしたりしました。大変な作業でしたが、どの子も一生懸命がんばりました。労働の後のジェラートは最高でした！



新庄小



壬生小

D 令和5年9月5日～令和5年9月7日



せどやま体験で丸太を切る時には、壬生小学校、新庄小学校の児童がお互いに助け合い、しっかり協力している姿がたくさん見られました。大変な作業と一緒に経験することで、学校が違ってもすぐに打ち解け、仲良く楽しむことができました。「もっと一緒に過ごしたい。」と、別れを残念がる児童もいました。

大暮養魚場では、魚を焼くための火をおこすことも体験しました。ほとんどのグループが「とりあえずやってみよう。」という感じでどんどんマッチを消費していましたが、なかなか火がつかず苦労していました。少し前まで生きていた魚を食べるという経験を通して、命のありがたさを感じることができました。

E 令和5年9月12日～令和5年9月14日



芸北小

1日目

対面式では、少し緊張した様子でしたが、笑顔で自己紹介をすることができました！



それぞれの民泊家庭に分かれて、いろいろな体験をさせていただきました。

2日目

そば道場で、そば打ち体験をしました。そば粉からそばになるまで1時間半以上かかりましたが、自分達で打ったそばは絶品でした。



ソフトテニス体験をしました。初めは上手くできるか不安でしたが、どんぐり北広島ソフトテニスクラブの方々に丁寧に指導していただいたおかげで、最後には試合をすることができました。

3日目

お別れ式では、「また泊まりに行きたい！」と思うくらい別れを惜しんでいました。

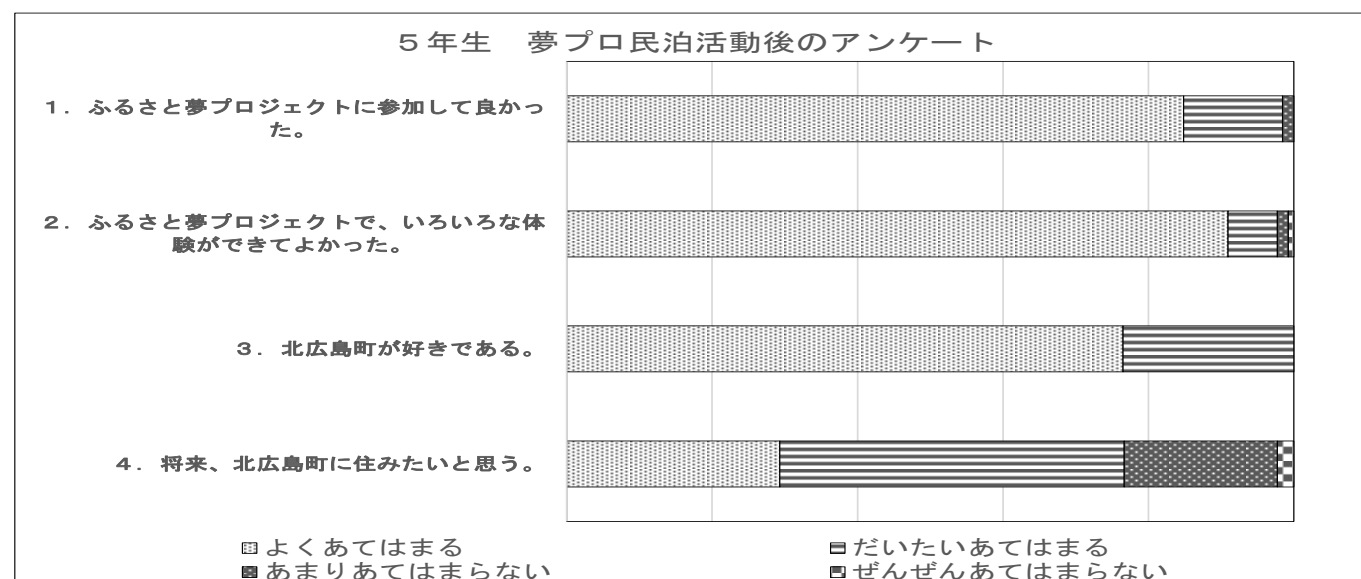


大暮養魚場で、川魚つかみ取り体験をしました。命をいただくということのありがたさを感じながら、アマゴを美味しくいただきました。



民泊体験活動を終えて

民泊体験活動を終えた児童にアンケートを実施した結果です。



体験活動に対しては、多くの児童が肯定的に評価しています。また、これまでの活動の成果もあり、「北広島町が好きである」と回答した児童が100%でした。ふるさと北広島を学びの場とすることが地元を大事にする気持ちにつながると考えます。

終わりにになりましたが、本活動に関わってくださったすべての皆様に改めて感謝申し上げます。上げるとともに、次年度も本事業が推進できるよう取り組むことを決意するところです。